

教科名

# 理 科

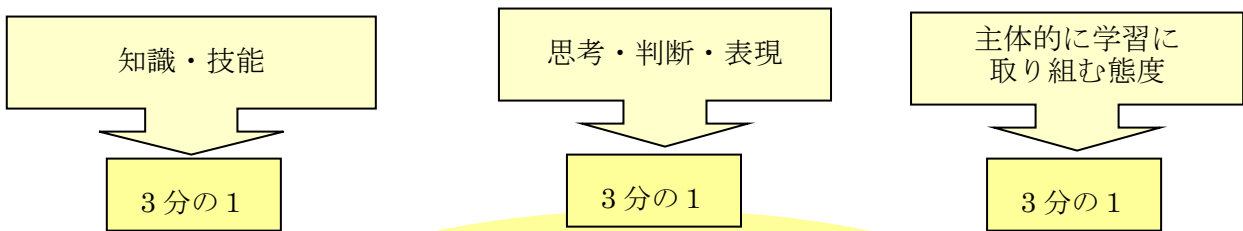


【年間計画】年間を通して、次に示すような単元を学習していきます。

月	第1学年	月	第2学年	月	第3学年
4	自然の中にあふれる生命	4	化学変化と原子・分子	4	生命の連続性
5	いろいろな生物とその共通点	5		5	
6		6	生物の体のつくりとはたらき	6	化学変化とイオン
7	身のまわりの物質	7		7	
9		9		9	宇宙を観る
10		10	地球の大気と天気の変化	10	
11	光・音・力による現象	11		11	運動とエネルギー
12		12		12	
1	活きている地球	1	電気とその利用	1	自然と人間
2		2		2	
3		3		3	

\*表中の数字は、月を表しています。行事・時間割の切替え等で多少前後します。

## 【教科における観点別評価項目】



定期テストが評価・評定のすべてではありません。日々の授業や小テスト、パフォーマンステスト（観察・実験の実技テスト）等で、授業中に学習した【基礎的・基本的な内容】について確認が行われます。学期の区切りだけでなく、この時点で定着しているかどうかも大切になります。また、レポートやノートなどの提出を求められることがあります。これも評価の1つとなります。

授業目標の達成・定着が「十分である」ことが、日々の高評価につながります。さらに、その積み重ねが、その観点の評価Aとなります。最終的に3つの観点別評価と、上に示された各観点の重みによって評定が出されます。

理科において、各学年では次に示すような力をつけることを目標としています。これは、授業目標であり、生徒たちにとっての達成目標になります。日々の授業で意識して取り組んでいくことが大切です。

< 1年生 >

- **いろいろな生物とその共通点**  
(生命) 身近な植物についての観察を通して、生物の調べ方の基礎を身につける。いろいろな植物の観察・実験などを通して共通点や相違点を見だし、植物がいくつかの仲間に分類できることを知る。  
動物の体のつくり子の生まれ方などの特徴を比較し、動物がいくつかの仲間に分類できることを知る。
- **身のまわりの物質**  
(粒子) 身の周りの物質についての観察・実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解する。また、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につける
- **光・音・力による現象**  
(エネルギー) 身近な事物、現象についての観察・実験を通して、光や音の規則性、力の性質について理解する。  
また、これらの現象を日常生活と関連付けて科学的に見る見方や考え方を身につける。
- **活きている地球**  
(地球) 資料を基に地層のでき方を考察し、重なり方の規則性を見つけることができる。  
地層をつくる岩石とその中の化石を手掛かりとして、過去の環境と年代を推定することができる。  
火山の形、活動の様子、その噴出物の違いを、地下のマグマの性質と関連させて説明できる。  
火山岩と深成岩について例を挙げ、鉱物の粒の大きさや組織の特徴の違いを説明できる。  
地震の体験や記録を基に、地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性に気づく。  
地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。

< 2年生 >

- **化学変化と原子・分子**  
(粒子) 化学変化についての観察・実験を通して、化合や分解などにおける物質の変化や、その量的な関係について理解する。  
原子・分子のモデルと関連付ける見方や考え方をを用い、物質の成り立ちや化学変化の仕組みについて理解する。
- **生物の体のつくりとはたらき**  
(生命) 身近な生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていることや、植物と動物の細胞のつくりの特徴を見出して理解する。  
植物の葉、茎、根の観察、実験を通して植物の体のつくりの共通性と多様性を知り、植物の体のつくりとはたらきを理解する。  
動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系、運動器官のつくりと関連付けてとらえる。  
消化や呼吸、血液の循環についての観察や実験を行い、動物の体には必要な物質を取り入れ運搬し、不要な物質を排出する仕組みがあることを総合的にとらえる。
- **地球の大気と天気の変化** (地球) 身近な気象の観察、観測を通して、天気変化の規則性に気付く。  
気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性について理解する。
- **電流とその利用**  
(エネルギー) 観察・実験を通して、電流と電圧の関係、電流の正体、電流と磁界について理解する。  
日常生活と関連付けて、電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を身につける。

< 3年生 >

- **生命の連続性**  
(生命) 身近な生物についての観察・実験を通して、細胞のレベルで見た生物の体のつくりと生殖について理解する。親の形質が子に伝わる現象などを通して、生命の連続性について考える。
- **化学変化とイオン**  
(粒子) 水溶液とイオンや化学変化、酸、アルカリについての学習を行い、化学変化とイオンについて理解する。
- **宇宙を観る**  
(地球) 身近な天体の観察を通して、地球の運動について理解する。  
太陽の特徴及び太陽系について理解する。
- **運動とエネルギー**  
(エネルギー) 物体の運動やエネルギーに関する観察・実験を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解し、日常生活と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を身に付ける。
- **自然と人間**  
(環境) エネルギーや放射線について知り、エネルギー・放射線の有効な利用が大切であることを知る。  
科学技術の利用と人間生活とのかかわりについて考え、環境との調和を図りながら科学技術を発展させていく必要があることを知る。  
微生物のはたらきや自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつりあいについて理解する。また、自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりすることができる。

1時間ごとに授業の目標があり、子どもたちは目標を達成することに精一杯の努力をすることで力を蓄え、磨き上げることができます。